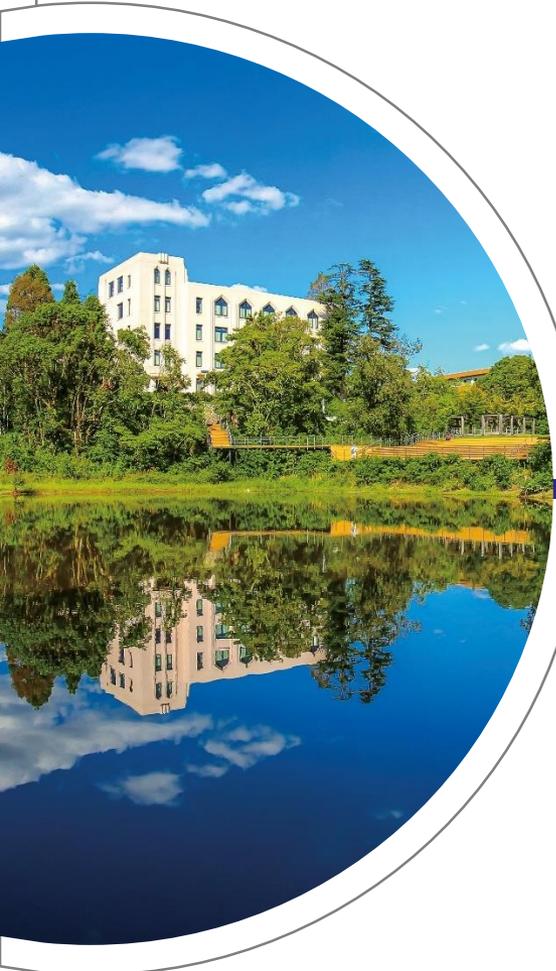


指定国立大学法人大阪大学
令和元年度国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）
フォローアップヒアリング・プレゼンテーション資料



大阪大学の強みを活かした 「知」と「人材」と「資金」 の好循環システムの基盤構築



OSAKA UNIVERSITY

総長 西尾 章治郎

令和2年11月30日（月）

大阪大学の経営改革構想概要

成果目標

OUエコシステムを確立し、安定的かつ持続的な「知」「人材」「資金」の好循環システムの基盤を構築する

OUエコシステム

卓抜した教育研究成果を社会実装し、その中から生じる新たな課題を分析し、教育研究現場に還元する好循環を築き、一層大きな**社会変革を生む新たな価値創造のシステム**



OUエコシステム概念図

「研究開発エコシステム」は産学共創領域を中心に進展。第4期中期目標期間に向け、教育等も含めたより普遍的なシステムとして「OUエコシステム」へ！

経営改革構想の実現に係る進捗

OUエコシステムの 確立・発展の3要素

研究力の強化

産学共創の取組拡大

新たな社会課題の把握と新研究領域の開拓

先駆けの取組！

活動の源泉

優秀な人材
の育成・確保

財務基盤の
強化

本補助金の投資により着実に進捗！

ガバナンス改革の状況

● 阪大版プロボスト体制（2名の統括理事）

▶ 迅速で全体最適な意思決定体制

● 三つの戦略会議

▶ 学系単位での連携による戦略策定機能強化

成果

● 教育改革の推進

▶ 高大接続から卒業キャリアパス・リカレント教育に至るまでの一貫した教育体制の整備

▶ 戦略会議を中心とした大学院教育改革－研究科の組織再編－

● OUエコシステムの実現に向けて各施策を集約し、全学に浸透

▶ 大阪大学OUビジョン2021の改訂 ▶ OUアクションプラン2021の策定

OUエコシステムの
基礎が整う！



本補助金を活用した取組の実施に係る進捗

取組①世界トップレベルの研究力の強化

成果目標

- ・基礎研究環境の充実
- ・新領域を開拓する仕組みの強化

取組

- 重点3分野にリソースの集中投資

優秀な若手PI特任准教授**3名** 国際展開支援コーディネーター

実験機器等の研究環境整備

- URAの研究支援体制の抜本的改革

大学全体の研究戦略統括URA 研究戦略立案を行うURA**3名**



生命医科学融合フロンティア

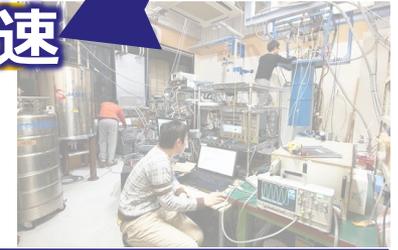
共生知能システム

量子情報・量子生命

3分野とも
ムーンショット型
研究開発制度の
PD,PMとして
貢献!

成果 量子情報・量子生命研究は大幅に研究が加速

- ▶JST「Q-LEAP」採択。**2.5億円×10年間**
- ▶より自立的な運営組織である研究センターへ改組



KPI ①相対被引用インパクト (FWCI)

R1実績

1.11

KPI

1.12

・トップ集団組織では
順調に推移

IFReC(免疫学) **2.24**

◆論文数は堅調。タイムラグを含めてFWCIの推移を分析していく。

◆トップ集団のアクティビティを最大化する方策を展開。

本補助金を活用した取組の実施に係る進捗

取組② 新たな産学共創のための機能強化

成果目標

- ・ 知財戦略とベンチャー創出支援体制の強化
- ・ オープンイノベーション推進の仕組みの構築

取組

- 研究現場の近くで知財戦略・ベンチャー創出支援

共創機構分室を複数設置

共創コーディネーター

イノベーターズクラブ

研究シーズ集

- 全国に先駆けた大阪大学社会技術共創研究センター（ELSIセンター）の設置

- 社会課題探索段階からの産業界との共創

未来社会共創コンソーシアムの本格稼働



成果

- ▶ 共同研究収入 **98.8** 億円 高い成果を導出する礎が出来た！
- ▶ 知的財産ライセンス **289** 件
- ▶ ライセンス収入 **6.6** 億円

KPI

① 共同研究収入

再掲

② ファンドを受けたベンチャー企業総数

R1実績

98.8

R1実績

51

前年度
79.2億円

KPI **81** (億円)

前年度
34社

KPI **40** (社)

大幅に
上回って
達成！

大阪大学の改革取組及び今後の展開

第4期中期目標期間 につながる大学改革の取組 ～コロナ新時代を見据えて～

社会との共創による
「生きがいを育む社会」の創造

あらゆる世代がその多様性を生かすことで社会を支え、豊かで幸福な人生をすべての人が享受できる社会

- 中長期の一貫した大学経営指針の策定
 - ▶ OUマスタープラン
- 組織の在り方見直し
 - ▶ 「スクラップ&ビルド」の観点から組織や人材配置の在り方を点検
- 未来社会の在り方を創造し、社会変革を導く人材の育成
 - ▶ ブレンデッド教育（対面×メディア）の推進
- 研究の在り方を大きく転換し、卓抜した研究成果を持続的に導出
 - ▶ 新興感染症総合研究開発拠点
 - ▶ 研究スタイル、研究設備可用性の変革
- グローバルな産学共創、オンラインによる国際交流
- 多様な働き方による豊かな時間の創出
- コロナ新時代に対応する情報基盤整備

etc

